

事業継続計画（BCP）

みかん行政書士事務所

令和8年4月

目 次

1. BCPの基本方針	3
1. 目的	3
2. 基本方針	3
3. 優先業務	3
2. 被害想定	4
1. 被害想定	4
2. 想定される影響	4
3. サービス提供のための対策	5
1. 事前対策の検討	5
2. 事前対策	5
①人への事前対策	5
②物への事前対策	5
③金への事前対策	5
④情報への事前対策	5
4. 緊急時の体制	6
5. BCPの運用	6
6. BCPの見直し	6

1. BCPの基本方針

1. 目的

当事務所は、緊急事態（地震等）の発生時においても、従業員及びその家族の安全を確保しながら自社の事業を継続することを目的として策定したものである。

2. 基本方針

当事務所は、以下の基本方針に基づき、緊急時における事業継続に向けた対応を行う。

チェック	基本方針
<input checked="" type="checkbox"/>	人命（所長・所員、顧客）の安全を守る
<input checked="" type="checkbox"/>	事務所の業務を維持する
<input checked="" type="checkbox"/>	業務遂行責任を果たす
<input checked="" type="checkbox"/>	地域社会、経済の復旧の推進に寄与する
<input checked="" type="checkbox"/>	情報漏洩対策を徹底し、取引先・顧客のからの信用を守る

3. 優先業務

緊急時においても、優先的に継続もしくは復旧させる業務及びサービスは以下のとおりである。

優先業務
災害時において急を要すると判断される申請及び届出業務

2. 被害想定

本計画における緊急時の被害状況を以下のとおり想定する。

1. 被害想定

本計画における緊急時の被害状況を以下のとおり想定する。

対象とする災害
大規模地震（南海・東南海トラフ地震）

2. 想定される影響

	種別	発生直後の状況	復旧状況の予想
インフラへの影響	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> ◆停電、断水、下水道管の損傷 ◆道路に起因するガスの供給途絶 ◆燃料（ガソリン）の調達困難 	電気、水道の順に復旧 下水道の復旧は遅れる ガソリンの調達は時局により変動する
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひび割れ、陥没による通行止め ◆う回路での渋滞 	主要道から順次開通
	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ◆地震発生直後の運行停止 →事務所への影響は少ない 	
	情報通信	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業者のケーブル断線と通信途絶 	無線、有線の順に復旧

	種別	発生直後の状況
事務所への影響	人	<ul style="list-style-type: none"> ◆事務所の大破・倒壊、機械・器具等の落下や転倒による負傷 ◆インフラの停止による移動の制限、通信の途絶
	物	<ul style="list-style-type: none"> ◆事務所の大破・倒壊 ◆機械、器具等の落下や転倒 ◆取引先の被災と業務停止
	金	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務停止による損失 ◆銀行等の業務停止 ◆取引先の被災に伴う損失
	情報	<ul style="list-style-type: none"> ◆パソコン等の機器類の破損 ◆重要書類の散逸

3. サービス提供のための対策

事務所がサービス提供を継続するための事前対策は以下のとおりである。

1. 事前対策の検討

提供業務
災害時において急を要すると判断される申請及び届出業務 平時の申請及び届出業務

2. 事前対策

①人への事前対策

	状況
安否確認のルールを決めているか	○
業務の代行体制は構築しているか	○

具体的な対策
平時より家族等との連絡を欠かさず行うようにしている
業務の代行先を選定している 《代行先》 みかんDX行政書士事務所

②物への事前対策

	状況
設備や什器を固定しているか	○
業務の代行体制は構築しているか	○

具体的な対策
事務所内の什器・設備を固定し、容易に落下しないようにしている
同水準でのサービス提供ができるよう、普段から代行先と協働体制を取っている

③金への事前対策

	状況
銀行等の停止に備え、現金の準備は行っているか	○
銀行等に運転資金は準備しているか	○

具体的な対策
業務遂行に要する現金は常時準備している
業務に必要な運転資金は最低限準備している

④情報への事前対策

	状況
重要データは特別に保管しているか	△

具体的な対策
冗長性の高いRAID5ネットワークストレージにデータ保管しているが、バックアップの措置は必要である

情報発信、情報収集の手段を整備しているか	○
----------------------	---

事務所ホームページを公開し、緊急時の被害状況や復旧状況を発信できるようにしている
--

4. 緊急時の体制

地震等の災害発生により、緊急事態となった際の体制は以下のとおりとする。

統括責任者	代理責任者
現在 1 名体制のため、意思決定、指揮命令の全てを本人が行う	—

5. B C P の運用

B C P の重要性や進捗状況等を事務所内に周知するため、定期的に以下の教育を実施する。

教育計画		
誰が？	何をする？	いつ？ どのくらいの頻度で？
代表者	B C P の進捗状況や問題点の説明	毎年 1 回（4 月）
	緊急時の役割分担の説明	毎年 1 回（4 月）
	提携先、取引先への説明	都度必要に応じて

6. B C P の見直し

B C P の実効性を確保するため、以下の基準に基づき B C P の見直しを行う。

見直し基準	時期
年に 1 度、事前対策の進捗状況や問題点をチェックし、不備や不具合が見つかった場合	毎年 1 回（4 月）
その他、運用上の不備や不具合が見つかった場合	随時

事業継続計画

改訂履歴

	日 付
初 版	令和8年4月1日

©みかん行政書士事務所